

四^し条^{じょう}金^{きん}吾^ご殿^{どの}御^ご返^{へん}事^じ

(衆^{しゆ}生^{じやう}所^{じよ}遊^{ゆう}樂^{らく}御^ご書^{しょ})

御^ご書^{しょ}全^{ぜん}集^{じつ} 1143頁^{ページ} 5行^{ぎょう}目^{めく}〜6行^{ぎょう}目^{めく}
編^{へん}年^{ねん}体^{たい}御^ご書^{しょ} 880頁^{ページ} 5行^{ぎょう}目^{めく}〜6行^{ぎょう}目^{めく}

苦^くをば苦^くとさとり樂^{らく}をば樂^{らく}とひらき苦^く樂^{らく}

とも^{とも}に思^{おも}い合^あわ^わせて南^{なん}無^む妙^{めう}法^{ぽう}蓮^{れん}華^げ經^{きやう}と^とう^うち

とな^{とな}へ^へる^るさ^させ給^{たま}へ、こ^これ^れあ^あに自^じ受^{じゆ}法^{ぽう}樂^{らく}にあ

ら^らず^ずや、い^いよ^よい^いよ^よ強^{きやう}盛^{じやう}の信^{しん}力^{りき}を^をいた^{いた}し給^{たま}へ

通^と解^{かい}

苦^くを苦^くと覺^{さと}り、樂^{らく}を樂^{らく}と開^{ひら}

き、苦^{くる}しくても樂^{たの}しくても、南

無^む妙^{めう}法^{ぽう}蓮^{れん}華^げ經^{きやう}と唱^{とな}えきつていき

なさい。こ^これ^れこ^こそ自^じ受^{じゆ}法^{ぽう}樂^{らく}では

ないか。ま^ます^すま^ます、強^{きやう}盛^{じやう}な信^{しん}力^{りき}

を奮^{ふる}い起^おこしていきなさい。

語^ご句^く

自^じ受^{じゆ}法^{ぽう}樂^{らく}

み^みず^ずか^か ほ^ほう^うら^らく
「自^みら^ら法^{ぽう}樂^{らく}を受^うく」と読^よむ。法^ほう^うら^らく とは 仏^{ほとけ}の覺^{さと}りを享^{きやう}受^{じゆ}する最^{さい}高^{こう}
絶^{ぜつ}對^{たい}の幸^{こう}福^{ふく}のこ^こと。自^みら^ら妙^{めう}法^{ぽう}の功^く徳^{とく}で^であ^ある真^{しん}の安^{あん}樂^{らく}を受^うける
い^いふ。